

小学校 低 学年<1- (8)>

学年	1年	時間	生活科「がっこう だいすき」 みんなで つうがくろを あるこう	時期	6月	時数	4時間
目標	先生に引率されて、学校の周りを歩き、自分たちの通学路の安全を守っている人や施設・設備に気づくことができる。						
資料・準備	安全を守る施設設備の写真、校区の絵地図、ワークシート、生活科バッグ、筆記具、水筒、帽子、協力依頼						

展開 (第1・2時)

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇)予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導入	<p>1 毎日の登下校時における通学路の様子について話しあう。</p> <p>◇学校の外を歩くととき守ったり気をつけたりすることは、どんなことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通のきまり(右側歩行・歩道・横断歩道・信号・左右確認 等)を守って、車に気をつける。</li> <li>・勝手な行動、遊び歩きなどしない。</li> <li>・先生や上級生、交通指導の人の話を真剣に聞く。</li> </ul>	<p>○毎日の登下校時における通学路の様子について話しあい、どのようなルールやマナーがあるかを発表し、通学路の様子に関心をもてるようにする。</p> <p>○歩くときのルールやマナーをきちんと約束してから出発する。</p> <p>&lt;約束&gt;① 交通のきまりを守り、車に気をつける。 ② 勝手な行動をとらない。 ③ 先生の言うことをしっかりと聞く。</p>
展開	<p>2 学校の周りをみんなと一緒に歩き、安全を守っている人々や施設・設備を見て回る。</p> <p>◇これから、通学路を歩いてみますが、みんなの安全を守る施設や設備にはどんなものがあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信号機</li> <li>・交通標識</li> <li>・横断歩道</li> </ul> <p>3 教室に帰って、歩いて見つけたことや気づいたことを先生や友達と話し合う。</p> <p>◇見つけたことや気づいたことがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通指導のおじさん・おばさんがおられた。</li> <li>・避難場所は学校という標識があった。</li> </ul>	<p>○次の第3・4時で歩くすべてのコースの学校近辺をちよつとずつ全員で歩き、3・4時の練習も兼ねる。</p> <p>○安全を守るための施設設備について、学習してから歩くようにする。</p> <p>○前もって、写真など準備しておく。できれば、各校区の実際の写真を準備しておき、提示する。</p> <p>○信号機、交通標識、横断歩道くらいしか気づかないと思うので、避難場所表示、消火栓、防火水槽また、それらの標識等については、写真等で教える。(実地で見つけさせるため)</p> <p>○いつもの交通指導員さんのことにもふれる。</p> <p>○人にあつたら挨拶、インタビューなどさせる。</p> <p>○途中、公園等で、休憩(トイレタイム含む)がとれるよう配慮する。</p> <p>○みんなと一緒に歩いて見つけたことや気づいたことを話し合う。</p> <p>☆自分たちの安全を守ってくれる人々や施設設備に気づいたか。</p> <p>☆見つけた人々や施設設備について発表・話しあいできたか。</p>
まとめ	<p>4 いろいろな気づき・発見があったことを誉め、本時の学習の振り返りをする。</p> <p>◇いろいろなことによく気がつきましたね。外を歩くとときの交通のきまりは守れましたか。</p>	<p>○どんな些細な気づきでも、しっかりとほめること。</p> <p>○はじめにした約束が守れたか自分で評価させる。</p> <p>☆自己評価ができたか。</p> <p>☆約束を守って、通学路を歩くことができたか。</p>

展開 (第3・4時)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きく2～3コースに分けて、各自が自分の通学路を含むコースを歩いて学習する。</li> <li>○ 各コースとも必ず指導者が引率(担任外の教員に協力依頼)し、事故等に遭わないように配慮する。</li> <li>○ 協力していただける方々と事前に連絡をとり、対策をとっておく。</li> </ul>
---

○事前準備・・・交通指導員さんや交番等に、お便りや電話、直接会って、などで、時間が許せばいつもの指導場所で指導していただくよう依頼しておく。

関連する教科・領域等	○生活科「がっこう だいすき」の単元、 ○登下校の安全指導
協力団体	交通指導員、交番等警察の方、安全見守り隊等地域の方、自宅におられる保護者や家族